

六識事

文永期

眼識 意 心 肉・天・慧・法・仏眼
耳識 肉・天・慧・法・仏耳
鼻識 肉・天・慧・法・仏鼻
舌識 見
身識 肉身・天身・慧身・法身・仏身
意識
正説・領解・述成・授記・歡喜
但彰灼に二乗に授記して顕露分明に長遠の寿を説くことを知る。茲の一座に於て聞知せざることを無し。故に名づけて顕と為す。
大乘を学ばん者は肉眼有りと雖も名づけて仏眼と為す。耳鼻の五根例して亦是くの如し。

魔梵釈女
菩薩処胎經「法性は大海の如く是非有るを説かず。凡夫賢聖の人は唯心垢の滅する在り。平等にして高下無く、証を取ることを掌を反すが如し」と。
理具 加持 顕徳 世出世に亘る 強 眼耳意 世間に限る 弱 鼻舌身 中智を離る
鼻舌身 至 不至 眼耳意 中智に合す

見聞 知覚
六識 眼識 耳識 鼻識 舌識 身識 意識
知見 眼 耳 鼻 舌 身 意
寅正月 卯木二月 辰三月 巳四月 午火五月 未六月 申七月 酉金八月 戌九月 亥十月 子水十一月 丑十二月